



本社工場



ときめき10点セット
(AKIMO通販限定)



急成長するよりも、長く続き人々に 貢献できる会社になりたいと思います」

平成18年に「栃木秋本食品」から「アキモ」へ社名変更。商品も浅漬けだけではなく、近年はジェラートのヒット商品(共同開発)も登場し、新たな企業イメージを確立しつつある、株式会社アキモ。秋本薫社長に、社は社訓にこめた想いをうかがいました。

神

奈川県にある秋本食品(株)の子会社として昭和35年に誕生した同社が、親会社との関係は保ちながら、独立したグループ企業の一員として再スタートを切ったのは、平成18年のこと。

「現在の経営理念は、その後につけたものです。以前のものは表現が難しかったので、時代に合わせて分かりやすくしましたが、精神は変わっていません」(秋本社長)

「アキモ」と聞くと、漬け物や漬物屋を思い浮かべる人が多いと思いますが、経営理念からも分かる通り、漬け物は商品のひとつの形。「日本人の野菜の摂取量は、近年どんどん減っています。けれども野菜は健康維持増進に欠かせない、重要な食べ物です。私も、野菜の加工を通じて、より多くの方に健康をお届けしたいと考えています」

同社では、地域貢献にも力を

注いでいます。本社工場周辺にあじさいを植えて、毎年6月に「あじさい祭り」を開催。12回目を迎えた今年は、2千人もの客が訪れたそうです。

また、2年前からスタートした小学生サッカークラブの「アキモクラブ」は、県内外各地の小学生サッカークラブ約40チームが一堂に会するビッグ・トーナメントです。

「企業は、長く続くことが重要。そのためには時代のニーズに合わせた経営を心がけます。急成長するのではなく、時間をかけてお客様や地域の方々との関係を醸成していきたいと考えています」

そんな「時代のニーズ」をみごとに活かした商品が、今年下野農園(株)ファア

ム・アンド・ファーム・カンパニーとのコラボで発売され、たちまち大人気となっている発酵野菜のジェラート「ロアレ」です。

アキモの研究開発チームが野菜を発酵させたペーストを開発し、下野農園のシェフがそれを使ってジェラートに商品化。今年8月に発売されると中央のメディアにも取り上げられ、品切れ続出になるほどの人気商品となりました。

「主力商品は漬け物ですが、

経営理念

野菜を
おいしく楽しくたくさん食べて、
すべての人に健康になって
いただきたい。

社是

顧客本位
お客様満足が第一の目的である
切磋琢磨
競争こそ維持発展の原動力である
不易流行
革新の連続が伝統を維持する

Information

株式会社 アキモ
代表取締役 秋本 薫
設立／昭和35年6月
所在地／宇都宮市石井町2341
☎ 028-667-0545
☎ 028-667-5749
http://www.akimo.co.jp



株式会社アキモ
代表取締役 秋本 薫氏

私はアキモは漬け物屋だとは考えていません。野菜を食べてもらうための手法、商品を提供する会社です。研究開発チームもこの考えを共有してくれたからこそ、今回の新商品の成功につながったのだと思います」

まさに、経営理念が会社の躍進に結集した、良い例ではないでしょうか。

秋本社長はブログにも「私見ですが、食品業界は今後の日本を代表する業界になるのではないかと思います」と自信をもつて書いています。その一翼を、栃木県の企業である同社が担うことで、新たな「メイド・イン・ジャパン」「メイド・イン・とちぎ」のスタンダードが誕生することが期待されます。